

# これでいいの？友好都市関係 友好訪問は議員の“慰安旅行”？



市議会では、毎年「国際交流事業費」の名目で議会費に数百万単位程度の予算を組み、市議会議員のグループを、相模原市と友好都市関係にあるカナダのトロント市と中国の無錫市などに友好訪問団として、近年では隔年に派遣している。最近では、2003年10月に中国、今年2004年にはカナダへ、それぞれ7名の議員団を送った。

本会は、この2つの訪問団が作った「報告書」を情報公開請求のうえ入手、内容の調査・分析を行った。その結果いくつかの問題点が浮かび、由比昭男市議会議長に対し質問、別掲の回答を得た。回答への当会の考え方を併せて載せた。

中国グループの報告書は本文5頁の簡単なもので、議会制度の懇談をしたとあるが、内容には全く触れてないなど、粗末なものだ。一方、カナダの報告書は40頁におよび議会の詳細や交流関係の情報も充実しており、市民に公開しても閲覧に値する。

中国組は無錫市には2日だけで、あとは上海や北京で時間を費やすなど、友好はそっちのけ。カナダも250万人のトロントでは対等の提携はもう無理。共に関係再考が必要だ。

## ■最近2訪問団の概要■

	 中国・グループ(2003)	 カナダ・グループ(2004)
日程	10月26日(金)～11月1日(土)	7月14日(水)～7月21日(水)
団員	◎佐藤賢司(5) 加藤明德(2) 武原祐子(2) 須田 毅(1)	◎細谷達司(7) 金子豊貴男(4) 川田基昌(3) 稲垣 稔(3)
◎団長 (当選回数)	細谷政幸(1) 小池義和(1) 今村由里(随員＝議会事務局)	菅原康行(3) 長友克洋(2) 井上健二(随員＝議会事務局)
総予算額	¥1,985,000 (1人 ¥283,570)	¥6,168,000 (1人 ¥881,143)
訪問地 (滞在日数)	無錫市(2日間) 会食3・視察・表敬 宣興市(1日間) 視察1と昼食会 上海市(1日間) 地区人民代表部表敬 北京市(3日間) 以外は視察兼観光	トロント市(4日間) バンクーバー市(2日間) (ト市庁訪問以外は日本総領事館・商工会・日系企業を訪問)

(注) 無錫市は1985年(昭和60年)に、トロント市(合併前はスカボロー市)とは1996年(平成3年)に、友好都市提携を行った。 6頁に続く→

# 傍聴報告・9月定例会

## ■本会議 (感想と意見) (8月26, 9月6, 7, 28, 29, 30日の6日間)

1. 金子議員のアイワ、MESH問題解明への注意喚起は注目されたが、基地問題は近況報告が相変わらず。早期返還方針に基づく強い主張を期待したい。
2. 田中議員の座間基地問題は、米国にしてやられないよう日本政府の態度を注視すべきだという指摘は、どうやらか中した感じだ。
3. 本会議を通して私語が目に残ったのは久保田(義)、折笠議員で、反省を期待する。
4. 市の財政といい、基地問題といい、時々刻々変化する状況下、もっと緊迫感のある質疑応答があってもよいのではないか。
5. 阿部議員の、青少年のためのニュー・スポーツについては若者の意見を取り入れてというのには賛成。だが、部長のビーチボール大会を予定と言う答弁には違和感を感じた。
6. 藤井議員の津久井郡との合併協議について、何度も市長に答弁を求めたが答えなかった。議長は何も言わず、次の議員を指名した。議長は答えさすべきだ。
7. 山田議員の2問目中に、須田議員が傍聴席を向いて、頭を下げて笑顔で、自分の後援者たちを見送る。本会議中だよ。
8. 東條議員の学校給食の食材は抜き打ち検査をしているのかの2度の質問に、ついに答弁がなかった。議長はなぜ答弁させなかったのか。
9. 東條議員が審議会等の委員在任期間の10年メドについて、34年間も居すわる委員の存在を指摘したが、専門的知識のある人は余人に代えがたいケースもあると答弁。市内に1人しか居ないとは考えられない。何かあるのか？
10. 岩本議員が津久井4町との合併問題で特例法期限までに見直すのかと質問。市政クラブ席から「ないない！」の声があり市側の答弁は無かった。市政クラブと市側がなんか企んでいるのかと思った。それにしても、岩本議員、声が小さく早口で、聞き取りにくい。
11. 今井議員の、市長や教育長への「ヨイショ」には参った。それに答えた教育長、学校教育の事ばかり。教育には生涯学習(社会教育)もあることを忘れないで。
12. 今井議員の演題「市制50周年を迎えて」という浪曲を聴いているようだった。この人の過去に対するこだわりと愛着はかなりのもの。
13. 小俣副議長、議員や職員の指名ぶりが余りにも稚拙。言えといわれて言っている子供のよう。議場はいつも苦笑に満ちる。
14. 由比議長、議案の採決の結果報告で、しばしばミス。議場の嘲笑だけではすまない正副議長のお粗末さ！
15. 大沢議員の自己陶醉型の棒読みに、首を回して眠気を払うもの止まず。一度自分の演説のビデオを見ることを勧めたい。
16. 金子議員の友好都市訪問をテーマにした質問は珍しい。トロント市の合併が成果を挙げてないという報告は貴重。ただ市長に遠慮がちな報告が、この人らしい。
17. 藤井議員が教育委員選任の議案で民間からの推薦について感想を求め、市長は「別にどうってことない」と不満顔。選べなかった理由ぐらい言ってもいいのでは。
18. 西村議員の反対討論は、全ての反対事項の羅列になっていたが、ポイントを絞れば説得力が増すのではないか。
19. 川上議員、自分の心筋梗塞発病時の体験談を、治療機器を持ち込み解説。質問というより医師会からの情報伝達に終始した。
20. 久保田(義)議員、誰が書いたか教科書風の文章を棒読み激読、自席での傍観ぶりとギャップに驚いた。
21. 総じてひどかった居眠り、私語。やはり形骸化した「セレモニー議会」に一因か。

22. 西村・藤井両議員の教育委員選任についての質問に対する市長の答弁。

- 1) 市民から推薦された3人の候補者を含め熟慮した結果だ。
- 2) 教育委員選任に関する各地の新しい動き（公募、選考委員会設置など）があることは承知している。

- 3) なるべく大勢のかたの中から選ぶということで、候補者推薦は結構だ。藤井議員は今後市民の提案を取り入れるよう要望した。透明化へ一歩前進だ。
23. 本会議時間延長で、5時22分に田中議員が質問に入った途端、市政クラブの5議員がゾロゾロと離席。傍聴者も疲れた。■

## ■委員会（感想と意見）

### ■総務委員会（9月9日）

- いつもながら、質疑については単純なQ & Aに終始するもの多く、議論がみえないのは残念だ。
- 稲垣委員、プライマリーバランスの黒字額を聴いたあと、市債発行を抑制すべきとか都市経営のビジョンを質していたがご自分の考えは披露しなかった。
- 菅原委員、使用料収入などの質問に終始していたが、1議員として、議会として答えをきいて「どうするのか」は言っていなかった。質疑ってなんのためにあるのかな。

### ■環境経済委員会（9月10日）

- 陳情28号（南清掃工場建替え問題）でガス化溶融炉（燃焼式）について、担当部局は「全国調査済で各地とも順調に稼働、事故なし」と答弁。事故がないなら陳情など出ないはず。その真偽について精査していくのが議会の役目ではないのか。これで進行するのでは市民の不安は納まらない。
- 沼倉委員が消防本部の「高所救助車」の保有が1台で充分なのかと質問。高層マンション建設無制限のほうが心配。また防災備蓄非常食は消費期限切れ前に有効活用すべきで、養豚業者に渡すより市民に無料で配布したら、との提言は妙案かも。
- 沼倉委員、緊急消防援助隊を他市の災害に出動させるのは「知名度を上げるよい機会」と発言。「よい機会」とはどのよ

うな神経か。問題発言ではないのか。

### ■民生委員会（9月13日）

- 久保田（義）委員、老人クラブ会員減少について市の「指導」を要請していたが、それは行政の仕事か？
- 陳情26号（年金改革の実施中止）に対する2委員の発言。
  - ・岸浪委員「もうスタートしている制度だから中止ということは出来ない。」
  - ・松永委員「もう決まったんだからではなく国民の8割が反対している制度は中止すべきだ。岸浪委員はどちらを支持するのですか」
- 休憩の時間に車椅子の職員が移動の際、傍聴席の椅子を動かさねばならなかった。傍聴席の仕切りテープなどなければたやすく操行可能だった。

### ■建設委員会（9月14日）

- 田中委員、住宅建設入札制度に関連して、談合情報が増加している背景についての質問で注目された。真偽の追求を望む。
- 阿部委員、木造建築耐震検査制度の利用状況をきいていた。市の大地震への対応を明確にさせる点で期待したが、より良い制度を以て終わり、市民の立場からのシャープな内容が無かった。次の民間業者による建築検査の質問でも同じだった。

### ■文教委員会（9月15日）

- 「教育基本法」関連の陳情5件が一括審査された。またもや「国の動向を見て」と、まとめて継続審査にされたが、うち1件は

継続5回目を数えた！ 市議会としての判断が出来ない相模原市議会だ。

- 耳障りな理事者（市側）答弁用語 — 「～考えてございます」はへんな日本語だ。また、いちいち「以上お答えいたしました」は要らない。
- いろいろな委員会を傍聴したが、理事者席最前列中央のマイクの調子が悪いのか傍聴席から答弁内容が非常にきき難い。

■議会運営委員会（8月20、9月30、10月7日）

- 合併問題陳情の扱いを合併問題特別委員会に任せる事を承認したが、特別委員会の役割に陳情審査が含まれているのか。それでは、特別委員会に直接陳情が可能なのか聞きたい。

- 白井事務局長が「決算証書」の保管場所を各部局でと提案したが、結局現状通りとなった。各会派の対応は：
  - 「急すぎる」（市政クラブ）
  - 「急すぎる」（公明党）
  - 「賛成できない」（民主クラブ）
  - 「持ち帰り検討」（共産党）
 なぜ提案が呑めないのか理由が分からない審議・議論が多すぎる。
- 「合併問題特別委員会委員の辞任」が議題になったので、何事かと思ったら病欠中の武原祐子委員（ネット）から岩本香苗（同会派）への交代だった。
- 西村委員が長友（克）委員に「長友先生、よろしくをお願いします。」と頭を下げての発言にびっくり！やはり「先生」という呼称は魔物的媚薬なのか。たとえ「おちょくり」でも、西村委員までもと落胆した。

## 堂々巡りの議会制度検討

おそまつ極まる議論、またも振出しへ！

議会制度検討協議会での1年間の「検討結果報告書」が議会運営委員会へ5月に提出された。その報告内容は、各会派の意見を項目別に羅列したもので、協議会の意見や方向を示していない。それにしても、報告書からもう半年が過ぎた。

この報告に、議会運営委員会はどんな結論を出すのか。因みに、議会運営委員会のメンバー8人のうち5人は協議会のメンバー（★）である！

折笠委員長、菅原副委員長、★川田基昌  
★稲垣稔（協議会委員長）、★岸浪孝志  
★関山由紀江、松永千賀子、★長友克洋

いかにひどい審議が行われているかは次の委員たちの発言を見れば分かる。

- 「この前はどこまでやっていたんだっけ？」（折笠委員長＝市政クラブ）
- 「方向性を出してから協議していくようにしてほしい。まずは、報告書の文面を（事務局で）読んでほしい。」（岸浪委員＝市政クラブ）

- 「制度が前の慣例から変わった歴史的な経緯から聞きたい。」「同意がないなら採択を」（稲垣委員＝市政クラブ）
- 「一般質問を前に持ってくるのは、最後まで緊張した会議にしたいから」「小会派も少し妥協してもいいのでは」（関山委員＝公明党）
- 「代表質問というなら2人会派も含めるべきだ。」（松永委員＝共産党）
- 「どんな変化にも対応できる大もとを決めよう。」（長友克洋＝民主クラブ）
- 「何年も議論した。ここで決めるのは責務。次回には方向性を出したい。」（菅原委員＝公明党）
- 「2人会派も代表質問させるべきだ。」（オザバー：岩本議員＝ネット）
- 「質問は議員一人一人の権利。むしろ市民から与えられた仕事だ。」（オザバー：東條議員＝無所属）
- 「単独議員が議案以外のことを質問できないのはおかしい。」（オザバー：西村議員＝無所属）

こんな会議じゃまとまる訳ない！

陳情の顛末・環境経済常任委員会 —— 「相模原いきごみ隊」代表・菅沢宣夫

## 陳情者の説明を拒む市議会に疑問

私は、南清掃工場建替えについて、これまで議会で指摘されてきた事項が、進行中の発注書に反映されること、さらには事業予算を明らかにすることを議会に求めた。私の陳情の審査は「環境経済常任委員会」で行われた。

冒頭、委員会は市に事業案の説明を求めた。市は平成13年の素案の提案からこれまでの調査や議論の経過を述べたあと、焼却炉の性能発注の予算の提示は出来ないと答弁していた。その内容はわれわれには全て承知しているものだったが委員会の場で再確認出来たことは意味があった。

次には、性能発注先のメーカー5社選定（注・全てガス化燃焼流動床方式）についての質疑があったが、社名は明らかにしないと回答していた。

### 議会と議員は違う？

質疑の最中、2人の委員から、私たち陳情者に説明を求める提案が出されたが他の委員との間で、求めるかどうかの議論がなされた。「必要がない」という理由は次の3点であった。

- ①陳情の文言が整っていないこと。
- ②陳情の指摘が実態と違うこと。
- ③“指摘”は「議員の指摘」で、「議会の指摘」とはいえない。

指摘は担当部局でのヒヤリングと議会議事録によるもので間違いのないのだが、委員会は陳情の間違いを、あえて市の説明の場を設けて示したかったらしい。

“議員の指摘は議会の指摘じゃない”のか。そもそも議員が指摘したことは議会でキチンと議論され、議会の責任で検証されていくべきです。しかし、そんな理由で陳情者の説明の機会は、結局否定されてしまった。

この審査では、大きな問題である建替について情報発信が充分であったかどうか指摘されたが、そこでも陳情で「議会」と言っていることは議会でなく「議員」のことだという複数の発言が繰り返され、結局陳情は不採択になりました。

◇

議会は、市民の意見を聞いたという市側の説明の中身や、一般質問で答えた市の対応をチェックするのは当たり前のことだと思います。例えば、工場解体の際のダイオキシン対策の中身が示されていないこと、市が答弁で「検討する」というだけで実は何も検証されていない点などは問題です。

◇

一般質問で優れた指摘をした議員、多くの指摘が放置され、かつ基本方針も議決されていない現状をきちんと認識していた委員については私は評価したい。

一方、議会総体としては、通り一遍で市民からみれば当座しのぎの説明を鵜呑みにし、説明内容の検証もせず、300億円に近い巨額な事業を容認してしまう議会は、その任務・機能を果していると言えるのでしょうか。

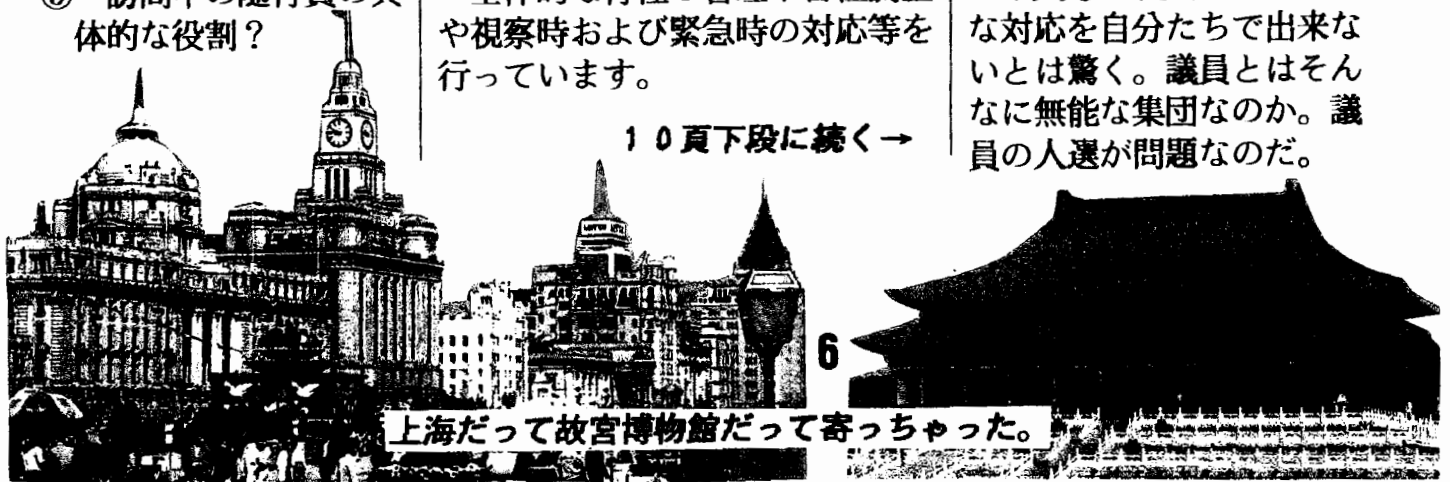
### 南清掃工場建替整備計画



# — 友好訪問・議長に聞いた — 議長の見解と当会の意見

質問事項	由比議長の見解	当会の意見
① 友好訪問が市議会議員が中心になって相互に訪問する目的は？	交流は教育、文化、スポーツ、青少年、経済など様々な分野でも行っている。市議会友好訪問団は、独立した議決機関の議会として、 <u>議会活動の参考とするため、両市議員と交流をはかり</u> 市政の状況やまちづくり等について視察、意見交換をしている。	これまでの訪問で、どの様なことを参考にして、実際に議会活動や議会の改善に活かしたか。 カナダ等の議会運営などのあり方を参考にしたら、今のような議会ではないはずだ。
② 訪問団の構成が7人に決められている理由(規定について)？	特に規定はありませんが、市議会の各会派代表者で構成する「会派代表者会議」において協議し、決定しております。	公平であるべき派遣議員の選定に規定を設けていないことは論外。
③ 訪問団のメンバー人選はどのように行うのか(規定について)？	「会派代表者会議」において、各会派の参加枠を協議し、その人選についてはそれぞれの会派で行っております。	現職議員46人中： 3回参加→2人 2回参加→11人 1回参加→22人 ゼロ回→11人 ★2回以上が13人の一方ゼロが11人は不公平。 無所属議員をなぜ外す？
④ 報告書の執筆を議員でなく随行事務局員が行う理由？	本市の「相模原公文例規定」により、2人以上が同一内容について文書で復命(視察等の報告)するときは連盟で作成することとされている。従って、随行職員が参加議員の意見等を取りまとめ、作成しています。	訪問団の正式メンバーは議員であるはず。復命されているのは議員だから、議員が作成すべきである。 議員に代わって随行員が行う理由を答えていない。
⑤ 訪問中の随行員の具体的な役割？	全体的な行程の管理や日程調整や視察時および緊急時の対応等を行っています。	7人もの成人がそのような対応を自分たちで出来ないとは驚く。議員とはそんなに無能な集団なのか。議員の人選が問題なのだ。

10頁下段に続く→



上海だって故宮博物館だって寄っちゃった。

# 相模原市議会 9 月定例会審議結果一覧表 2004 (平成16年)

【審議結果】

(NO1)

議案番号	議案名	議決結果	会派別議決結果 ( )=会派構成人数											
			市 ク (22)	公 明 (8)	共 産 (5)	民 ク (4)	社 民 (2)	神 奈 (2)	無 議 長 (長)	無 議 西 (西)	無 議 東 (東)			
議案第46号	平成15年度相模原市一般会計歳入歳出決算	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第47号	平成15年度相模原市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第48号	平成15年度相模原市下水道事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第49号	平成15年度相模原市老人保健医療事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第50号	平成15年度相模原市自動車駐車場事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第51号	平成15年度相模原市介護保険事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第52号	平成15年度相模原市母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第53号	相模原市市税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第54号	相模原市立保育所設置条例の一部を改正する条例について ・公立保育所の民営化の実施に伴い、相模原市立橋本保育所廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第55号	相模原市手数料条例の一部を改正する条例について ・薬事法の改正により審査手数料の規定を追加	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第56号	工事請負契約について (相模原市菅田名塩田団地建設工事) 契約金額……………761,197,500円 契約の相手方……………小山建設・相模建設共同企業体	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第57号	工事委託協定について (南橋本駅東西自由通路整備工事) 委託金額……………633,420,000円 協定の相手方……………東日本旅客鉄道㈱東京工事事務所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第58号	損害賠償額の決定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第59号	住居表示の市街地区域について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第60号	市道の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第61号	平成16年度相模原市一般会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第62号	平成16年度相模原市下水道事業特別会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第63号	教育委員会の委員の選任について (兩宮 博之氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第64号	教育委員会の委員の選任について (遠藤 彰子氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議提 議案 第10号	キャンプ座間への米陸軍第一軍団司令部、沖縄海兵隊等の移転に 反対を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第11号	北方領土早期返還の実現を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○=可決, 同意 ●=否決, 異議 退=退席

【諮願・陳情結果】

番号	請願・陳情名	結 果	会派別議決結果 ( )=会派構成人数											
			市 ク (22)	公 明 (8)	共 産 (5)	民 ク (4)	社 民 (2)	神 奈 (2)	無 議 長 (長)	無 議 西 (西)	無 議 東 (東)			
陳情第23号	教育基本法改正の見送りについて (2003年6月定例会提出)	△												
第17号	教育基本法の理念を生かすことを求める意見書の採択について (2004年3月定例会提出)	△												

◎=採択 ×=不採択 △=継続審議

# 相模原市議会 9 月定例会審議結果一覧表

2004(平成16)年

【請願・陳情結果】

(NO2)

番号	請願・陳情名	結果	会派別議決結果 ( )=会派構成人数											
			市 ク (22)	公 明 (8)	共 産 (5)	民 ク (4)	社 民 (2)	神 木 (2)	無 福 (長)	無 福 (西)	無 福 (東)			
陳情第20号	教育基本法の早期国会審議を求める意見書提出について (2004年6月定例会提出)	△												
第22号	神奈川県地方最低賃金の引き上げと最低賃金制度の抜本改正を 求めることについて (2004年6月定例会提出)	×	×	×	◎	×	×	×	×	◎	×			
第23号	パート労働者等の均等待遇を求めることについて(2004年6月定例会提出)	△												
第24号	教育基本法改正に対し相模原市議会として反対の意見書の 提出を求めることについて	△												
第25号	当市3町合併問題に関し、市民への十分な情報公開と議論の場の 保障並びに住民投票を求めることについて	△												
第26号	国民が安心して暮らせる年金制度確立のために 年金改革法の実施の中止を求めることについて	×	×	×	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎			
第27号	乳幼児医療費助成制度の拡充を求めることについて	×	×	×	◎	◎	×	◎	×	◎	◎			
第28号	南清掃工場建て替え整備の発注仕様書に議会指摘事項の反映を 求めることについて	×	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	◎			
第29号	教育基本法改正案の国会提出の見送りと、同法の理念・精神を 生かした教育の実現を求めることについて	△												

◎=採択 ×=不採択 △=継続審議

## 過去10年間の訪問団の構成員一覧 【現職議員のみ。( )内は全団員数】

年度	訪中団	訪加団
平成 7 (1995)	今井 満 細谷達司 山下昌志 大上和夫 寺山 猛 (5)	溝渕誠之 由比昭男 小俣 旭 小林一郎 (7)
平成 8 (1996)	石井千太郎 久保田義則 川田基晶 (4)	佐藤賢司 河本文吉 今井 満 山田 弘 友成洋一 (8)
平成 9 (1997)	由比昭男 稲垣 稔 菅原康行 (6)	山岸一雄 石井千太郎 山崎順二 寺山 猛 (6)
平成 10 (1998)	(実施せず)	(実施せず)
平成 11 (1999)	菅野通子 沼倉孝太 川上一行 関山由起江 (6)	(実施せず)
平成 12 (2000)	(実施せず)	(実施せず)
平成 13 (2001)	折笠峰夫 久保田隼夫 岸浪孝志 田中武夫 (6)	(実施せず)
平成 14 (2002)	(実施せず)	石井千太郎 久保田義則 今井 満 山下昌志 大上和夫 (7)
平成 15 (2003)	佐藤賢司 加藤明德 武原祐子 須田 毅 細谷政幸 小池義和 (6)	(実施せず)
平成 16 (2004)	(実施せず)	細谷達司 金子豊貴男 川田基晶 菅原康行 稲垣 稔 長友克洋 (6)

最初の提携都市  
和歌山市がトヨタ  
市と編入合併し  
た関係で訪問を  
見合わせた。



# 相模原市議会 9月定例会での議員活動（一般質問）状況

(NO1)


議員名(会派)	一般質問の主題	議員名(会派)	一般質問の主題
金子 豊貴男 (社会民主党) 	<ul style="list-style-type: none"> <li>①外来種野生動物の市内での繁殖、増加と各種被害対策、フライグマ・ハクビシなど外来種野生動物の対応</li> <li>②国際交流の充実、推進に向けてカナダ、トロント市訪問から</li> <li>③相模補給廠PCB保管問題の総括と基地の環境問題</li> <li>④厚木基地のFA18スパーホネットの追加配備と騒音対策区域の見直しについて</li> </ul>	加藤 明徳 (公明党) 	<ul style="list-style-type: none"> <li>①障がい者施策の充実について <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の障がい者施策の課題と取り組みについて</li> <li>・「障害者」の表記について</li> </ul> </li> <li>②健康、医療対策の充実について <ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギー対策の充実について</li> </ul> </li> <li>③相模大野駅周辺の将来ビジョンについて <ul style="list-style-type: none"> <li>・安心、安全な街づくりについて</li> </ul> </li> </ul>
米山 定克 (公明党) 	<ul style="list-style-type: none"> <li>①市民生活 <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅用火災警報機設置の促進</li> <li>・動物愛護の方策について</li> </ul> </li> <li>②選挙対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・投票率向上の対策について</li> <li>・投票所区域の見直しについて</li> </ul> </li> <li>③教育行政 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育オンブズマン制度の導入</li> <li>・特別支援教育について</li> </ul> </li> </ul>	菅野 通子 (日本共産党) 	<ul style="list-style-type: none"> <li>①保育行政について <ul style="list-style-type: none"> <li>・待機児童解消の対策について</li> <li>・分かりやすい情報提供と利用者の立場にたった苦情処理体制</li> </ul> </li> <li>②ごみ処理施設建設と市民的議論 <ul style="list-style-type: none"> <li>・南清掃工場建替整備は</li> <li>・「相模原津久井ブロックごみ処理広域化実現可能性調査」報告書の内容は</li> </ul> </li> </ul>
東條 恵美子 (無所属) 	<ul style="list-style-type: none"> <li>①南清掃工場建て替え整備計画について <ul style="list-style-type: none"> <li>・財政状況との関係について</li> <li>・ごみ減量プラン等と施設規模について</li> </ul> </li> <li>②学校給食について <ul style="list-style-type: none"> <li>・食材と残飯処理について</li> <li>・アレルギーと障害児の対応</li> </ul> </li> <li>③審議会等のあり方について <ul style="list-style-type: none"> <li>・公募委員について</li> <li>・在任期間が長い委員について</li> </ul> </li> </ul>	西村 綾子 (無所属) 	<ul style="list-style-type: none"> <li>①基地問題と平和の希求 <ul style="list-style-type: none"> <li>・米軍再編計画とその動向について</li> <li>・沖縄普天間基地のヘリコプター墜落事故と座間基地常駐ヘリコプターについて</li> </ul> </li> <li>②行政改革について <ul style="list-style-type: none"> <li>・「さがみの風」の総括、その影響をどう見るかについて</li> </ul> </li> <li>③合併問題について <ul style="list-style-type: none"> <li>・合併による雇用問題について</li> </ul> </li> </ul>
阿部 善博 (市政クラブ) 	<ul style="list-style-type: none"> <li>①電子自治体の推進について <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報システム開発の進捗状況</li> <li>・本市がめざす情報教育</li> <li>・市の全体的な取り組み</li> </ul> </li> <li>②相模大野駅周辺の街づくりについて <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状と課題</li> <li>・将来像</li> </ul> </li> <li>③青少年の為のニュースポーツについて</li> </ul>	田中 武夫 (日本共産党) 	<ul style="list-style-type: none"> <li>①米軍基地問題について <ul style="list-style-type: none"> <li>・移転の現実性のある状況になった時の対応は</li> </ul> </li> <li>②米軍機爆音問題について <ul style="list-style-type: none"> <li>・米空母の横須賀母港返上が、緊急の課題となったが</li> </ul> </li> <li>③平和思想普及活動について</li> <li>④高齢者福祉施策について <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者福祉施策の有料化について</li> </ul> </li> </ul>
藤井 克彦 (日本共産党) 	<ul style="list-style-type: none"> <li>①身近な緑、オープンスペースの確保について</li> <li>②県から移譲された事務、市民サービスの充実について</li> <li>③津久井郡との合併協議について <ul style="list-style-type: none"> <li>・合併した場合の行政サービスの水準、住民負担についての情報提供と十分な議論は</li> </ul> </li> <li>④小中学校グラウンドの排水改善</li> </ul>	長友 克洋 (民主クラブ) 	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域主権、地方の自立を求めて <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市内分権についての市長の考え方</li> <li>・決算成果主義評価制度導入</li> <li>・市場化テスト（官民競争制度）の導入</li> <li>・一体型入札制度の導入</li> <li>・構造改革特区の更なる有効活用</li> <li>・IT活用に向けた専門家検討の導入</li> <li>・産業誘致施策推進の実行</li> </ul> </li> </ul>

# 相模原市議会 9月定例会での議員活動（一般質問）状況

(NO2)

議員名(会派)	一般質問の主題	議員名(会派)	一般質問の主題
須田 毅 (市政クラブ) 	①行政改革について ・窓口業務の改善について ・市民満足度調査の今後について ②高齢者福祉について ・第2期高齢者保健福祉計画の進捗状況と今後の進め方について ③ごみの減量化、資源化の推進について ④緊急地域雇用創出特別対策事業について	山崎 順二 (公明党) 	①子育て支援について ・児童虐待防止対策について ②清掃行政について ・市の新一般廃棄物処理基本計画について ③商工振興策について ・さがみはら産業振興ビジョンの進捗と今後の取り組みについて
山田 弘 (公明党) 	①まちづくりの施策 ・地域づくりを住民が主体的に進めるための機能の充実 ・(仮称)まちづくり条例等について ②道路行政 ・道路構造令の改正と道路の移動円滑化整備ガイドラインについて ・大規模事業の周辺道路整備	岩本 香苗 (神奈川ネットワーク運動) 	①市内小中学校のシックスクール対策について ②南清掃工場建替整備計画について ・メーカー選定の経過 ・ごみ処理計画について ③さがみ縦貫道路、相模原IC関連事業による周辺環境への影響 ④津久井郡4町との合併問題について
川上一行 (市政クラブ) 	①都市内分権の具体化について ・研究成果の具体化に向けて ②公の施設の管理に関する制度(指定管理者制度)について ・公益法人の統廃合を含めてそのあり方の検討について ③環境情報センターについて ④保健所政令市移行と市民の健康づくりについて ⑤自動体外式除細動器(AED)について	今井 満 (市政クラブ) 	①相模原市制50周年を迎えて ・自主財源の動向と対応について ・都市計画問題について ・併設公民館出張所と地域センター構想について

※詳しい内容は『市議会だより』や『議事録』を参照して下さい。

質問事項	由比議長の見解	当会の意見
⑥ 過去の訪問による具体的な成果は？ 	両市の議員との相互交流を通して、友好都市等の行政運営などについて意見交換を行い、交互の友好関係が深められております。また、議員個人の国際的視野を広げのちの議員活動に活かされています。	具体的な成果が述べられていないのは残念である。どんな意見交換をし、友好関係が深まったのか。同じ国へ2回以上行ったのはカナダへ行った今井、石井の2議員だけ。他は1国1回に過ぎず、どんな成果をあげられたか。
⑦ 市の財政難の折、あえて継続している理由はあるか？	友好都市との議員交流は、議員が相互に訪問しあうことによりお互いの友好を深めるとともに、議員個人の国際的視野を広げることとなり、国際化が叫ばれる中で非常に重要なことと考えています。	前項の答えと同じ。まったく答えになっていない。財政難への認識が全然無いと言わざるを得ない。国際的視野を広めたと言える証拠があるのか。

# 友好2都市の提携の経緯と歴史

## 1 無錫市について（昭和60年10月6日友好都市提携）

昭和55年、相模原市日中交流協会が発足し、会長に相模原市長が就任。昭和56年、無錫市出身の薛葆鼎工業経済研究所<sup>まつほうてい</sup>所長が相模原市長に無錫市訪問を勧め、同年10月相模原市日中交流協会第4次訪中団が初めて無錫市を訪問しました。当時、無錫市は、機械、電子などの分野で工業化が進められており相模原市と似た性格を持っていることもあり、以降、両市の多方面での交流が図られました。こうした友好を育む中、昭和60年10月6日に友好都市の提携が行われました。

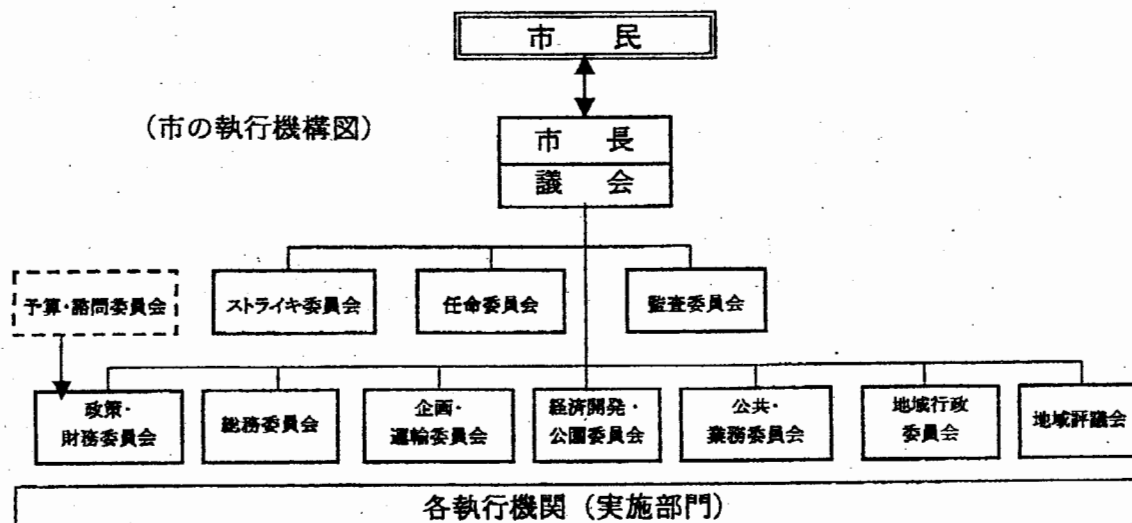
## 2 トロント市（前スカボロー市）について（平成3年5月31日友好都市提携）

無錫市との教育や文化、スポーツなど様々な分野での友好交流が活発となり、昭和63年ごろから欧米圏都市との友好都市交流を望む声があがり検討を進める中で、在日カナダ大使館からオンタリオ州のスカボロー市を紹介され、平成元年11月に職員が調査のため訪問しました。スカボロー市は、人口規模や都市環境などが相模原市と共通する点が多く、相互訪問による友好交流を経て、平成3年5月31日に友好都市の提携が行われました。（その後、スカボロー市は、オンタリオ州政府の「新トロント市への移行に関する法律（いわゆるメガシティ法案：法案第103号）」によって、平成10年1月1日に近隣5市〔トロント市、ノースヨーク市、エトピコー市、ヨーク市、イースト・ヨーク市〕と合併し、人口約240万人の新トロント市になりました。） <文化国際課> （訪加団の「報告書」から）

## 資料2

# TORONTO市議会

トロント市議会の定数は、44人でこれに市長を加え、議会を構成している。議会は、6つの常任委員会と合併前の旧6自治体の市民ニーズを吸い上げるために設けられた4つ（2003年11月までは6つ）の地域評議会で構成される。住民が一番上にあるのが特徴的で、その下に市長・市議会、そして6つの常任委員会を配置している。（訪加団の「報告書」から）



## 政務調査費の増額

— 市政クラブ・公明党が提案考慮中? —

議会関係者からの情報によれば、市議会大会派の市政クラブと公明党の2会派の議員の間では、現在議員1人毎に年間84万円が支払われている「政務調査費」を増額しようと話し合っているという。

政務調査費は、言うまでもなく市政に係る調査を行うための経費として予算化しているものだが、その報告書や領収書は情報公開上の“公文書”にはなっておらず両会派共に、これまで用途を公表していない。

第2の報酬と言われ、いわば何にでも使える政務調査費のあり方が問われている現在、財源が税金である事を考えれば、より慎重な配慮が、議員には求められる。

## 香港旅行も計画?

問題の政務調査費を使っただけの「香港視察旅行」の計画が噂されている。どこまでも無軌道な議員たち。市政チェックは野党任せ、与党会派の好き勝手は際限なし。■

## 議員通信簿(前期)発表

— 寸評編/サポセン2周年催し会場で —

昨年2月に発表、大きな話題となった相模原市議会議員46人の「通信簿」の本年度版の一部を、11月7日(日)開催の「さがみはら市民活動サポートセンター」の「04フェスタ」内の展示会場でパネル展示することになった。

今回発表するのは【寸評編】で、先の統一地方選挙で当選してからの合計6定例会を総括した議会での活動についての総評になっている。本会議や常任委員会での言動を中心とした各議員の採点で、採点者は期間を通して傍聴を続けてきた本会会員。賛否両論の末、合意に達した結論が示されている。■

### 編集後記

- 友好都市との相互訪問が恒例化しているので、その実態を最近実施された2つの報告書入手。議員自身の思考が全く見えない内容に疑問を持った。
- 議会の制度をどう改革しようというのか。議会の議論を聞くかぎり、民主主義の精神の維持には、何もしないで現状維持の方がまだましだ。(赤)

### 議会へ行こう! 12月定例会日程 (会議の開始は毎日朝9時半から)

11月18日(木) 議会運営委員会	12月8日(水) 建設委員会
11月24日(水) 本会議(議案説明)	12月9日(木) 文教委員会
11月30日(火) 本会議(総括質疑)	12月20日(月) 本会議(委員長報告)
12月3日(金) 総務委員会	12月21日(火) 本会議(一般質問)
12月6日(月) 環境経済委員会	12月22日(水) 本会議(一般質問)、議運委
12月7日(火) 民生委員会	

★陳情締切り日は11月23日午後5時★

### □入会申込書□

<入会金不要>

私は会の趣旨に賛同し、入会します。(A, B どちらか ○をつけてください。)

氏名 \_\_\_\_\_

A. 会員(傍聴など活動する)として

住所 \_\_\_\_\_

B. 賛助会員(購読し、支援する)として

☎。FAX \_\_\_\_\_

●年会費(会員2000円、賛助会員1口1000円から)

★郵便振込口座番号:00280-6-48430 相模原市議会をよくする会

★申込み先= 相模原市議会をよくする会・事務局(代表/ 赤倉昭男)

〒228-0814 相模原市南台5-13-8 ☎/FAX 042-749-9140

HP = <http://yokusurukai-gallery.hp.infoseek.co.jp/>